

極東國際軍事裁判所

五米利加合衆國其他

對

荒木貞天其他

宣誓供述者

供述者

松

本

俊

一

自分儀我國ニ行ハルル方式ニ從ヒ元ツ別紙ノ通り宣誓ヲ爲シタル上次ノ如ク供述致シマス

私、松本俊一ハ宣誓ノ上左ノ道陳述スル。

一、私ハ明治三十年（一八九七年）生、東京都大田區雪ヶ谷町ニ居住シテ居ル。

私ハ大正十年（一九二一年）東京帝國大學法學部卒業後外務省ニ入り、昭和十五年（一九四〇年）九月ヨリ同十七年（一九四二年）十一月迄外務省條約局長ノ職ニ在ツタ。

二、昭和十五年（一九四〇年）九月私ハ在中華民國參事官カラ歸朝ヲ命ゼラレ、外務省條約局長ニ任命セラレタ。私ガ松岡外務大臣カラ三國條約ニ關スル日獨間ノ交渉ノ話ヲ聞キ、之ニ關與スルコトヲ命ゼラレタ時ハ、既ニ同外相ト「スターマー」氏及「オット」大使トノ話合ニ基キ大體ノ條約案ガ出來テ居タ。私ハ其ノ後九月二十七日ノ同條約締結ニ至ル迄、細部ノ技術的「レダクション」等ニ關與シタノデアアル。三國條約ノ交渉ハ私ノ知ル限り、日本側テハ殆ンド松岡外相一人ノ手テ行ハレ、齋藤良衛顧問及私ガ技術的方面テ之ニ參劔シタ。

三、譯語彙文書第一六五六號「日獨伊三國條約各種案文作成及國內手續經過

概要「ナル文書ハ私ガ三國條約締結後直チニ手許ニ在ツタ關係文書ノ散逸ヲ防ギ且記録トシテ保存スル爲之ヲ整理シテ作成シ、昭和十五年（一九四〇年）十月外務省ノ記録トシテ少數部ヲ印刷ニ附シタモノデアアル。本文書ノ「第一、日獨伊三國條約以ニ附屬文書ノ各種案文作成經過概要」ノ冒頭ニアル記述ハ各文書ノ作成サレタ経緯及相互ノ關係等ヲ説明スル爲ニ私自身ガ起草シタモノデアアル。

昭和二十二年（一九四七年）七月二十八日 於東京

供 述 者 松 本 俊 一

右ハ當立會人ノ面前ニテ宣誓シ且ツ署名捺印シタルコトヲ證明シマス

同 日 於 同 所

立 會 人 内 田 藤 雄

宣
誓
書

良心ニ從ヒ眞實ヲ述ベ何事ヲモ黙秘セズ又何事ヲモ附加セザルコトヲ誓フ

(署名
捺印)

松

本

俊

一